

2nd International Joint Student Seminar on OHOW 出張記録 2023/6/25-7/2 文責吉本(事務方記録)

出張者：竹内先生、Dr.Khin、Dr. Bhattacharya Yasmin、Dr. Trinh Xuan Truong、吉本
学生：桑野研：平能礼嗣、二口夏帆、水谷研：Kazim Muhammad Moosa、王天易、目黒研：Kishor Timsina、芝浦工業大学5名

6月25日

深夜便 (00:45JL0033) 羽田発でバンコクスワンナプーム国際空港へ。定刻出発。JL は、毛布が暖かく座席が黒だったので落ち着いた雰囲気だった。空港出口10にAITから迎えの車に乗りAITへ。1時間ほどで到着。AITホテルにチェックインをして8時過ぎまで過ごす。



AIT Center Annex

6月26日

RNUS オフィスで仕事開始の前に AIT 内のグロッサリーでマンゴ (冷蔵1パック70THB) とスイカ (冷蔵1パック30THB) を購入。スイカは、大きなサイズ1個が80TBHだった。



RNUS office at AIT

12:00~13:30: BUET Prof. Ansary とオンライン会議 今後の研究活動等意見交換を行う

昼食後は、AITの食堂。入り口で100THBのクーポンを購入し、好きなメニューを選びクーポンを渡して支払いをすませます。帰りに再度クーポンを出口で渡しお釣りを受け取る。

午後は、学生セミナーの準備。名簿の確認、名札の作成、ツアー参加の確認、会場の確認等

夕食は、Dr. Chaitanya Krishna Gadaganna 夫妻とタイ料理を食べに行き、その帰りに巨大市場も訪問する。



タイ料理レストランと果物市場

6月27日

早朝到着した東大の学生さんは、1か月間AITで建物調査をしているKishorの調査に同行



目黒研の Kishor 桑野研二口、水谷研 Wang, Kazim,桑野研平能

10:00~11:00 Dhaka University の Prof. A.S.M. Maksud Kamal, Prof. Md. Zillur Rahman, Shamima Ferdousi Sifa lecture, Md. Shakhawat Hossain とオンラインで OHOW 2023 について会議。

MTG 後、学生セミナーで必要な物資の購入のため Future park(大型ショッピングセンター)へ買い出し。行きは、バスで移動。



車掌が乗り込んだ客に近寄りチケット切る。

昼は、ショッピングセンター内でタイしゃぶしゃぶ (MK) を食べる (日本にも支店有)



AIT に戻り会場準備等を 15 時から行う



AIT の卒業式を行うホールが会場となった。

夜は、AIT 内にあるレストランでタイ料理





センターの入り口の電子掲示板

9時にオープニングセレモニーが竹内教授の進行で始まる。
ペヌン先生、山本学長の挨拶が終わり、集合写真を撮り休憩。



竹内先生と山本学長



Kuo-Chieh Cho 先生、Pennung 先生、学長



竹内先生、Pennung 先生、学長



オープニングセレモニーの様子



集合写真



特別講演：竹内先生、Dr. Chaitanya(AIT), Dr. Avirut Puttiwongrak

3名の特別講演後、1名3分の学生発表が行われた。前半は、13の発表。



学生発表の様子



学生発表の様子



ディスカッションの様子



ディスカッションの様子



後半は、15の発表



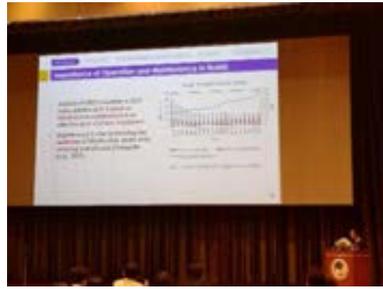
学生発表の様子



学生発表の様子



ディスカッションの様子



特別講演：Dr. Truong, Dr. Khin, Dr. Yasmin



発表者の集合写真

優秀発表者 6 名



クロージングセレモニー Prof. Dieter Trau Dr. Chaitanya



受付の様子



その日の晩御飯は、RNUS スタッフと一緒に AIT 内の食堂へ



これだけ食べても 1 名 6 0 0 円 (150THB) くらいで味は大変美味しい。途中から土砂降りの雨が降ってきました。雨季です。

6月29日テクニカルツアー

7:00 集合だったが、その時点で集まったのは、10名足らず。

7:15の時点で、残り26名足らず。前日のセミナーで投票用紙を配り、回収時に番号の付いた TOUR COUPON を渡し、ツアー当日は、その COUPON を受付で渡し、6台のバスに振り分けるため、くじを引き名前をバスのボードに記載するとして。17名が当日欠席判明し、7:40にAIT出発、10:40 Wat Thipsukontharam に到着。



Wat Thipsukontharam 前で集合写真

仏像の耐震構造を展示している（AIT Prof. Pennung 監修）博物館を訪問



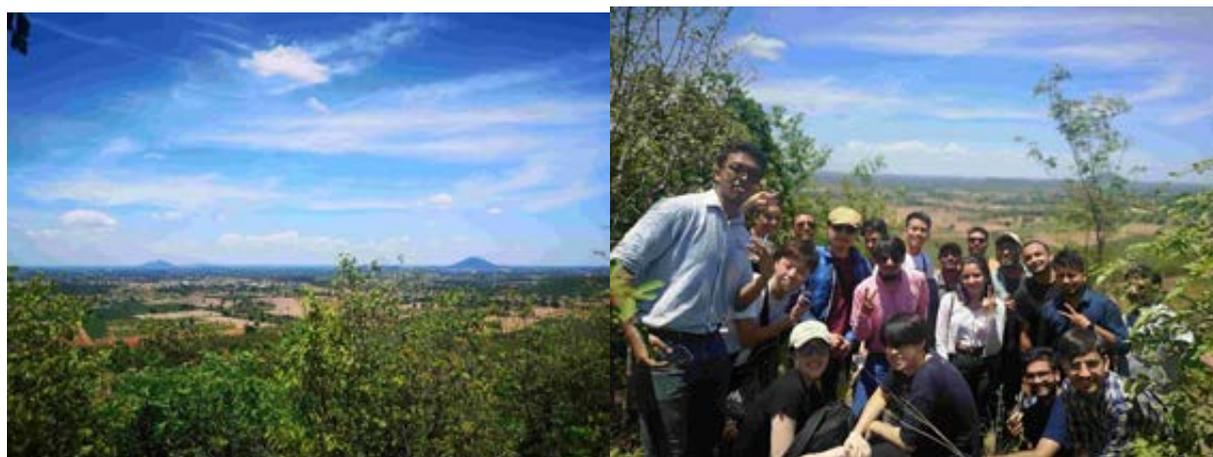
Prof. Pennung

仏像内の構造の説明

敷地内の森にマンゴを植栽するボランティアに参加



植栽の説明を受けてその後、マンゴの苗を植栽



丘の頂上からの眺め

14:30 一時間遅れで、像の保護をしている Sai Yok Elephant Park に到着。遅めの昼食



昼食場所 バイキング方式でした

像の保護等の説明



15:30 に SaiYokElephant Park を出て (Elephant Heaven Thailand は時間が無くなったのでキャンセル) Kasae Cave に到着 15:40



洞窟内にお寺がある。

駅名は、タムクラセー栈道橋 (アルヒル栈道橋) 英語名 Death Rail Way



16:10 Death Rail Way の Krasae Cave 駅発→River Kwai まで1時間半の汽車の旅





途中雨雲が接近してその後大雨に



クウェー川橋駅 (River Kwai Bridge)

泰緬鉄道は、第二次世界大戦中に旧日本軍が建設。映画「戦場にかける橋」の舞台にもなっている。



クウェー川橋駅に着く前から土砂降りの雨。見学は中止となり AIT に戻る。

6月30日 RNUS で業務 RNUS 会議 10時～12時

竹内先生、Dr. Khin, Dr. Yasmin(生研)、Dr. Chaitnya, Ms. Gift(AIT) 吉本 (生研)

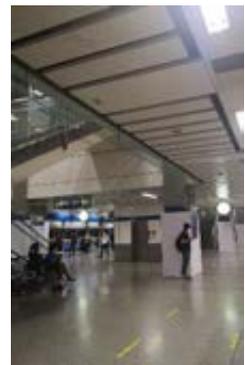
バンコク市内にある GISTDA (Geo-Informatics and Space Technology Development Agency/
 泰地理情報・宇宙技術開発機構) に勤務する Dr. Tita を訪問
 夕ご飯を共にする。



Truong, Tita, 吉本



バンコクの地下鉄ホーム



バンコク市内

7月1日

10～12時 RNUS で業務と打ち合わせ、部屋の掃除等

午後は、AIT, Thammasat を見学 18時に迎えの車がきて空港へ



AIT 構内

リモセンセンター



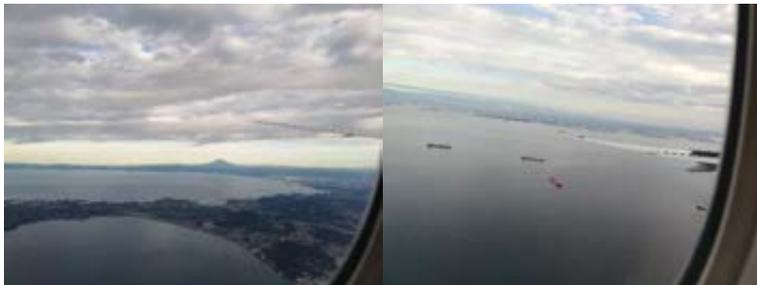
AIT のゴルフコース、プール



タマサート大学構内

学生寮

ユニバーシアードで使用したスタジアム



編集後記

AIT は、夏休み中の為学生の参加がどうなるかが読めなかったが結局は、多くの学生が参加、内容も多分野の発表となった。今回も RNUS 秘書の GIFT さん、地盤の秘書の APPLE さんには、準備段階からツアーの手配と細部にわたりお世話になり感謝感謝の気持ちで一杯となる。今回は、AIT にのみ滞在となったので AIT 構内の様子、売店、レストラン等ゆっくり観察ができた。カフェも多く簡単に軽食を購入できること、緑が多く、遠くからの学生は、ほぼ全員構内の寮に住むことができる。テニス、バドミントン、バレーのコート、プール、ゴルフコースなどアクティビティの施設も充実していて羨ましい限りだ。構内の食堂、レストランは、どこへ行っても美味しかった。日用雑貨店も自転車修理も構内にあり外に出なくても事は足りるように思える。RNUS での活動は、活発になるので多くの学生、教職員の方々が訪問する場となってもらえるとよいなと思った。